

bjリーグ

NPOが実況解説

イヤホン通じ観戦充実

富山市のNPO法人「富山スポーツコミュニケーションズ」(佐伯仁史理事長)は5日から、プロバスケットボール・bjリーグの富山グラウジーズの試合会場

で、参加者に音声受信機付きのイヤホンを貸し出し、独自の実況解説を試験的に始めた。

この日、用意したイヤホン

県内ではbjリーグ以外

にも、プロ野球独立リーグのBCリーグが2年目を迎える、J2入りを目指すカタレ富山が始動するなど、プロスポーツが競合。ルールに詳しくない観客でもゲームを理解し、観客増につ

終了間際、劇的再逆転

富山グラウジーズは5

日、魚津市のありそドームで埼玉ブロンコス(埼玉県)と対戦し、79-78で勝利した。試合終了間際に互いに逆転する劇的な試合を制し、今季2勝目を挙げた。

富山は、蒲谷正之らが3点シュートを立て続けに決めるなど、終始押し気味の試合展開。だが、第4クォーターに激しい点の取り合いになり、残り2秒で埼玉に逆転され、1点リードを

なげるために企画した。同NPOは、BCリーグでも同様の実況・解説を予定しているほか、観客の感想などの情報をチームに提供し、試合内容の改善などにつなげてもらう考えだ。

佐伯理事長は「ルールに詳しくない観戦初心者に特に利用してもらい、スポーツ観戦のすそ野を広げたい」と話している。

許した。

しかし、即座に富山は小川伸也のパスを受けたジャマー・ブラウンが再逆転のシュートを放ち、勝利を決めた。

富山の福島雅人ヘッドコーチは「勝てたのはよかったが、ミスも多かった。もう少し楽にやれたはず」と話した。



終了直前、富山のジャマー・ブラウン(右)が逆転シュートを放ち勝利を決める

富山グラウジーズ 19221721
埼玉ブロンコス 21231717